

令和5年度 杵束まちづくりセンターの主な取組

事業名

この夏『君が』『地域が』…変わる 事業

P

●事業実施に至った背景、目的

杵束まちづくりセンターを拠点に、人のつながりを取り戻すとともに、伝統文化を継承できるよう発表の場を準備できるような事業を企画・実施することとし、住民の負担感が少なくなるよう配慮することが課題となるので、有志による実行委員会方式とした。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・住民有志による実行委員会の始動（令和5年5月29日（月））
*メンバー：弥栄のみらい創造会議、市民有志、弥栄支所職員、まちづくりセンター職員
- ・実行委員会の開催（令和5年5月～8月、計7回）
- ・事業実施（令和5年8月26日（土））

D

●事業の概要

- ① 日時 令和5年8月26日（土）17時～20時30分
- ② 場所 杵束まちづくりセンター駐車場・集会室・会議室
- ③ 内容
 - ・ステージイベント…バルーンアート、石見神楽（安城神楽社中）
 - ・手持ち花火、打ち上げ花火、噴出花火の実施
*花火実施前に、消防職員さんから火の取扱いについて学習
 - ・露店出店…弥栄のみらい創造会議の各部会、地域住民ほか運営
*射的・輪投げ・紐くじ・ヨーヨー釣り・モルック体験・飲食解禁ほか
- ④ 来場者 親子連れ、町内住民、町外住民 約400名

C

●事業実施後の振り返り

- ①今年度は2度目の開催で、コロナの5類移行を踏まえ飲食を解禁した。
- ②町内外から昨年を上回る約400名が来場し、来場者アンケートでも今後も継続してほしいとの回答が多数。
- ③地域住民から自主的に露店出店を希望する動きが出てきた。
- ④実行委員も昨年度の経験が生かされ、余裕を持った運営ができた。

A

●令和6年度以降の方向性

- ①人員確保・配置、花火実施上の安全確保など検討が必要な項目について、対策を検討する。
- ②露店出店など、地域住民の自主性に期待して公募する。
- ③この事業に関連付けて、事前に竹明かり作り教室などを開催し、作品を当日の会場の雰囲気のある照明として活用する。

